

＼すくすく／まなび

10月27日～11月9日は読書週間です

区内中学校における読書推進の取組を紹介します！

子どもにとって読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです。

中央区の各校ではすべての子どもが読書の素晴らしさを感じ、日頃から生き生きと読書を楽しめるよう学校図書や読書活動の充実に取り組んでいます。読書週間に合わせ、昨年11月号では区内各小学校の特色ある取組をご紹介しました。今年は区内各中学校の特色ある取組をご紹介します。

昨年11月号はこちら

東中学校

東中学校では、生徒会活動のひとつ図書委員会のメンバーが、生徒たちの読書活動を充実させようと様々な活動を行っています。POPカードや本の帯を作成し、おすすめの本を紹介する取組もそのひとつ。みんなに興味を持ってもらえるよう、検討を重ね、思いを込めた言葉が並んでいます。



読みたくなる！書店も顔負けのPOPカードや本の帯

また、学校元気アップ地域本部より、コーディネーター・ボランティアのみなさんにご協力いただき、ほぼ毎日、昼休みと放課後に図書の貸し出しや管理をいただいているほか、定期テスト前や長期休み期間の学習会も行っています。学習会は図書室の資料を使って学習できるので、勉強しやすいと好評です。



学校元気アップのみなさん、ありがとうございます！

南中学校



工夫された図書室で熱心に読書する生徒たち

南中学校では、図書委員会が図書の貸し出しを毎日、昼休みに行っています。生徒会活動で図書委員会を選んだ生徒たち。より多くの生徒が本に触れられるよう日々がんばっています。



図書委員会では、図書室の利用促進を目的として、図書室を銀行に例えた取組を行っています。貸し出す本には値段があり、借りた本の金額を通帳に記入し、累計金額が1万円を超えると、図書委員会で作成したしおりをプレゼントしています。委員会の活動もより活発になり、生徒の主体的な取組が今後も期待できます。

図書館が銀行に！たくさん読んだら貯金が増える！

上町中学校

上町中学校では、生徒会の図書委員会や学校元気アップ地域本部事業のコーディネーター及びボランティアの協力によって、週に3回図書室を開放しています。地域のボランティアの皆さんと協力しながら図書室を運営する活動を通じて、生徒たちは社会参画の意義を学び、日々成長しています。



図書委員おすすめ本ではさまざまな分野の本が並びます

玄関ピロティに新聞を置き、おすすめの本を紹介するなど、生徒が自主的に、親しみやすい図書室にするための取組を行っています。



図書室前の展示をみたら図書室に行きたくなる！

今年も開催！日本中がほんでつながる「まちライブラリブックジャパン」

～本を片手に！みんなの“せかいめぐろう”～
もりのみやブックフェスタ

区内小中学生による『子ども“推し本”紹介』を展示します





昨年度の様子

10月4日(水)～18日(水)
もりのみやキューズモール 2階
まちライブラリー
(森ノ宮中央2- 1-70)

懐かしい本、意外な本、感心する本を
区内小学生がみずみずしい言葉で紹介！
子どもたちの今を知ることができます。
ぜひ、観にきてください！

～読書週間に寄せて～

読書を通じて実際には経験できない自分の知らない世界や新しい価値観にふれることは、子どもたちにとって非常に貴重な学びの機会になると私は思っています。

区内小中学校では、先生方や地域のボランティアのみなさんの助けを得ながら、さまざまな工夫をして読書活動に取り組んでいます。

1冊の本が人生を変えることもあります。「子どもたちがそんな1冊に出会えますように」そう思いを込めて、各校の取組にエールを送ります。



中央区長 稲嶺 一夫